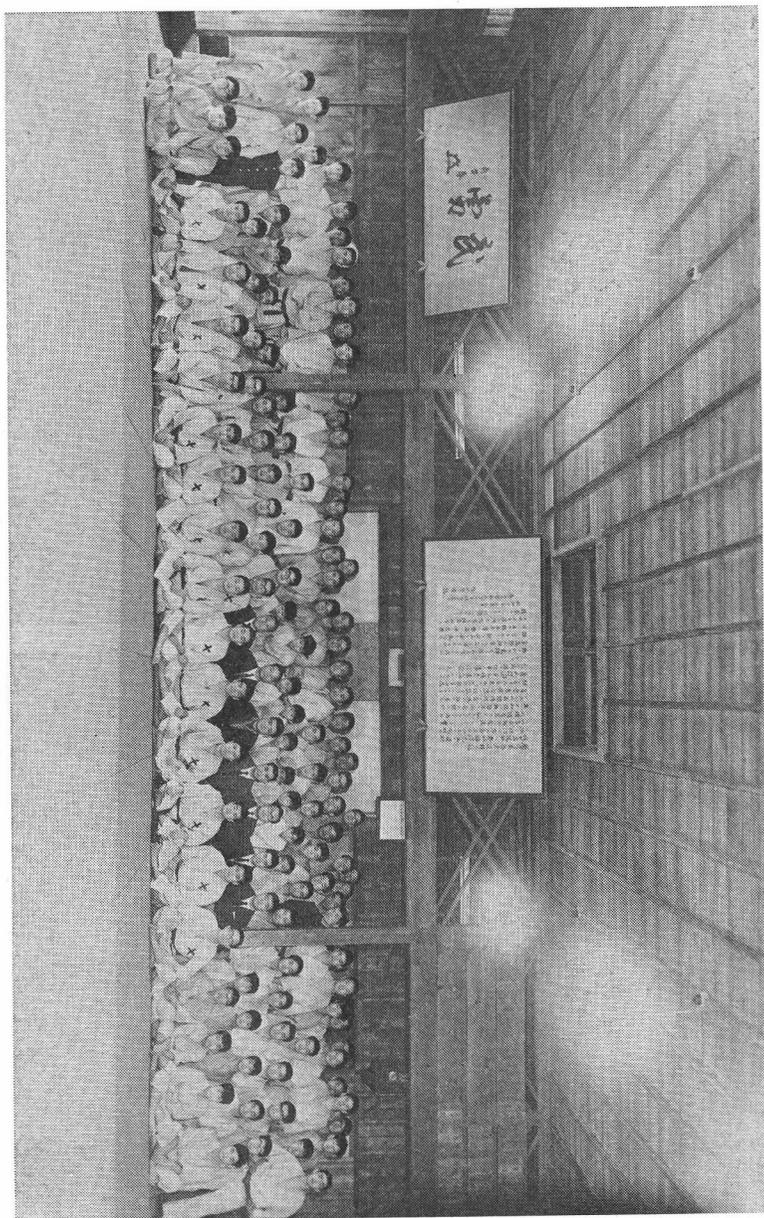


## 昭和四十一年度

### あの頃の私の夢

堀 信 孝

卒業して十年……本当に柔道をやったと思うこの頃、私が柔道部生活を通じて昭和四十一年度ほど今なお鮮明な記憶として脳裏に焼きついている年はなかったと思っております。この年は早慶戦雪辱、全日本への出場権獲得の二大目標に向けて従来以上に部の強化が叫ばれた年で、指導陣も清水両師範、故朝飛師範に加え新たに皇宮警察より佐藤毅コーチ、新任の監督として渡辺明治さんをお迎えし、最も充実した環境の中で我々部員は一丸となって厳しい稽古に精励致しました。稽古も我々なりに工夫し、稽古量の増加だけでなく部強化の一環として新たに基礎体力作りという観点からマラソン、サッカー、ウエイトリフティング等、他のスポーツも積極的に取り入れられ、身体の鍛錬が為されました。私はこの当時厳しい二つの大きな目標に向けて精進しながら、もう一つの目標を自分なりに掲げて居りました。これは私の夢であり四年生皆の夢でもありましたが、この夢はできることなら全日本出場を成し得た暁に柔友会へ懇請すべき事と自分に言い聞かせジッと胸の奥にしまい続けて居りました。この私なりの夢、果たいと思っていました目標とは夏季遠征を海外で行うという事でしたが、この夢も最初から早くも躓き、二大目標の一つである念願の全日本出場は残念ながら成就出来ませんでした。しかしながら我々が最後の目標である早慶戦雪辱にすべてを賭けて尚一層稽古に拍車がかかっていた頃、この「海外遠征」を望む声が部員の一部から湧き上り、私と



昭和四十一年卒業生送別記念

しても目標を達成できなかったのに「海外遠征」の話を持ち出すのは不適當である事を承知で、渡辺新監督を通じてこの旨を柔友会へ伝えて戴きました。それでも我々は希望達成なるかと初めのうち期待に胸ふくらまし、甘い考えであまりしたが、現実には極めて厳しく、部強化の為に果して有益であるかどうか、費用負担面でどうするかが障害となり、結局紆余曲折の末計画そのものを完全に断念せざるを得ませんでした。ところがその後この海外遠征に代る国内での遠征について、師範をはじめコーチ、監督を交え種々検討の結果、天理大遠征の代案が持ち上がりました。というのも朝飛先生が当時天理大学の松本師範と非常に親しくされていたこともあり、天理大としても塾柔道部との合同合宿なら大いに歓迎するとの話がトントン拍子に運び、とうとう一週間の日程で天理大学へ遠征という当初の意思とは違う結果になってしまいました。この突然降って湧いた天理大遠征計画は当初の「海外遠征」に比べると月とスッポンで、私を初め「海外遠征」に期待を抱いていた部員達の落胆は大きいものでありました。御存知の通り、当時も関西学生生の雄として学生柔道界に君臨し、全日本選手権をはじめ数々のイベントに有名選手を続々と輩出していた天理大と合同合宿を行う事は、塾柔道部にとって創立以来初めての試みであり、当時の塾の実力でどこまで彼等についていけるかに危惧の念を禁じ得なかったのが私の正直な実感であったと思います。しかしながら「案ずるより生むは易し」で、確かに天理大の合宿は筆舌を尽し難い程強烈で厳しいものでしたが、一日が終ると疲労困憊でグツタリし、ともすれば弱音を吐きがちな我々を叱咤激励して下さった朝飛先生の温い思いやりに支えられ、そして又世界選手権中量級で優勝した岡野さん(当時天理大コーチ)に酒を御馳走になるなどの御心遣いを頂いたり、或いは最後の晩に天理教総本山中山真柱(故人)の主催で豪華なスキヤキ会を催して戴いたりで我々部員達も随分慰められ、何んとか怪我人も出さず無事一週間を乗り切ることができました。

省りみまずとこの天理大合宿で得た苦しくも楽しかった貴重な体験は参加部員全員のその後の自信につながった事

と確信して居ります。朝飛先生の「頑張らにゃ」という先生独得の激励調の言葉、毎日出されたワラ草履の様なステーキ、馬小屋を改造した宿舎、リボビタンDの山、筆をすすめている今でも断片的に天理大での一週間の出来事が鮮明に甦がえってきます。

この後の秋の早慶戦は残念ながら雪辱という実は結ばませんでした。

従って当時歯を食いしばって頑張ったけれどもこの二大目標は完遂されず夢のまま消えさりましたが、その経過に於いて私なりの一つの目標は果されたと思っております。当時私の気持があんなに海外遠征に傾いたのは、楽しい思い出となるような行事をしたかったからで、それは形を変えた天理遠征が、今振りかえれば楽しい思い出となったことで立派に果されたと思えます。

卒業して十年以上たつのに私達四十一年度の二十人の仲間が錬心会という会を作って未だに強く結ばれているのは、今となつては楽しい思い出の多い部生活の共同体験が根源にあるからに他なりません。柔道をやって良かったと今更ながら思います。

東京学生柔道連盟委員	体育会常任委員	副	幹	副	主	主	監	師	部	役	員							
行本公二	三枝靖和	大沢英昭	牛場春夫(合宿所主務)	飯田祥次	大竹克己	望月克己	手島秀士郎	朝倉秀樹	沢地憲一			西村和悦	竹本真次	堀本信孝	渡辺明治	伊藤俊一	清水直臣	朝飛速夫

兼塾内競技部  
 兼日吉高校コ  
 一チ

日吉高校コーチ 金杉浩  
 志木高校コーチ 松井高陽  
 普通部コーチ 山科誠  
 中等部コーチ 秋元貞明  
 幼稚舎コーチ 渡辺弘二

**寒稽古**  
 恒例の寒稽古を一月八日(土)から二十一日(金)午前五時半から七時まで綱町道場において、行なった。  
 例年のように大学生から幼稚舎生ならびに先輩も常時約三十名参加し、道場狭しと稽古にはげみ、皆勤賞は百七十名の多きを数えた。  
 二十一日には表彰式後、幼稚舎生の父兄を招待してお汁粉会を行ない、盛況のうち終了した。  
 精勤証 庄司、渡辺、藤原、作田、伊藤  
 努力賞 先輩成毛(秀)、豊永、南、阿部(智)  
 皆勤証

幼稚舎 成毛 以下十名  
 普通部 赤木 以下十八名  
 中等部 作田 以下二十四名  
 日吉高校 松葉 以下二十四名



決勝 ○菊一 優勢 寺下(桜ヶ丘)

古屋 優勢 ○小沢(日大一高)

菊一 優勢 ○宮越(鶴見)

### 体育会功労賞選手章受賞者

#### 功労賞

安藤洋志、滝沢緑郎、野田侃生、荻巢賢二、片桐正路、若菜武夫、森田総典

#### 選手章

庄司利昭、橋田紘一、小高喜久夫、中村征人、岡本美臣、横江 宏、金子賢二、吉村庄平、森藤平八郎、長谷川孝、橋本信賢、井上雅行、田島義将、添野重穂、藤田博継、中川正輝

### 卒業生送別試合

二月 於 綱町道場

卒業生二十四名を送る送別試合が綱町道場で盛大に行なわれた。卒業生の先鋒、幼稚舎生、中学生を二十数人抜いて意気あがるも、試合がすすむにつれて何人も抜けなくなり多勢に無勢。数に優る現部員が勝ち、またも卒

業生は現役を抜き去ることはできなかった。

試合後場所をかえて大学生だけで送別会を催したが、いつまでも名残り惜しく歓談、放歌が続いた。

### 本塾対東北学院大学対抗試合

第一戦 四月一日 於 綱町道場

本塾 7 — 7 東北学院大学

先鋒 ○稲波 唯弘 優勢 恒松

○平川 道隆 大内刈 遠藤

芥田 引分 八重樫

○芳賀 孝穂 弘腰 吉田

○仙石 通泰 引分 高橋

○福井 勝也 背負投 菊地(功)

望月 克己 引分 菅野

宮沢 由幸 内股 ○武田

吉無田 健 釣込腰 ○宇野

関 郁夫 背負投 ○岩淵

金杉 浩 足払 ○大山

○青木 鶴佳 背負投 石井

田中 明男 大内刈 ○柴田

引分 梅津

## 第二戰

○田中明男	○稻石謙一	○芳賀孝穗	○関郁夫	○吉無田健	○福井勝也	○平川道隆	○稲波唯弘	○宮沢由幸	○宮本圭一	○河上龍雄	○松野慶一	先鋒 羽鳥正稔
大外返	体落	弘卷込	背負投	体落	優勢	大内刈	引分	大外刈	大外刈	合技	内股	大内刈
梅津	○柴田	岩淵	○宇野	石井	戸塚	菅野	吉田	高橋	八重樫	遠藤	恒松	○菊地(功)
												東北学院大学

本塾

13 — 4

四月四日 於 網町道場

大将 堀信孝	副将 ○西村和悦	朝倉秀樹	大竹高	飯田祥次	小杉寛治
引分	合技	優勢	引分	優勢	小内刈
渡辺	菊地(正)	○深瀬	加藤	○菅野	佐藤

## 第三戰

大将 芳賀孝穗	副将 河上龍雄	平川道隆	松野慶一	○羽鳥唯弘	○宮本圭一	○稲田新	渡辺和男	加藤陽	瀬戸口昌宏	○松葉直彦	先鋒 松葉直彦
引分	引分	優勢	合技	引分	背負投	小内刈	背負投	内股返	後袈裟	袈裟固	袈裟固
柴田	石井	○宇野	○武田	菅野	○岩淵	○菊地	○高橋	○恒松	○八重樫	遠藤	東北学院大学
											網町道場

本塾

2 — 7

四月四日 於 網町道場

大将 朝倉秀樹	副将 ○堀信孝	○飯田祥次	○手島秀士郎	○大竹高	青木鶴佳	小杉寛治
引分	体落	内股	大外刈	背負投	引分	内股
渡辺	深瀬	菅野	松崎	大山	佐藤	○武田





○鈴木	○鈴木	那須	藤原	岡戸	河村	小林	斎藤	佐久間	飯島	赤木	菅原	菅原	和田	河村	河村	河村	河村	大将	副将	○塚本	○鈴木	
木	木	雅	義	知	俊	守	陽	三	真	孝	友	茂	村	村	村	村	村	古	古	本	林	
		晴	久	隆	裕	剛	介	正	理	夫								敏	敏	広	重	
																		郎	郎	道	寛	
双	後	優	引	引	袈	横	引	引	引	引	返	合	合	引	横	優	優		引	袈	引	
手	袈	勢	分	分	姿	四	分	分	分	分	技	技	技	分	四	勢	勢		分	姿	分	
刈	袈				固	方														固		
○国	○伊	○伊	村	鷄	○鷄	○鷄	新	石	加	影	○影	○奥	○奥	田	佐	松	後		平	田	新	
上	藤	藤	松	田	田	田	井	井	藤	島	島	野	野	村	々	縄	藤		林	村	井	
																					原	
																						松

(抜勝負)

先鋒

優勢 先鋒

第五回東京関東学生柔道

体重別選手権大会

大将	副将	小	鈴木	○鈴木	熊谷	○熊谷	山田
古	塚	林	木	木	谷	喜	田
屋	木	木	重	重	隆	隆	文
敏	広	寛	安	安			治
郎	道						
不	引	引	合	優	引	絞	一本
戰	分	分	技	勢	分	技	背
大	副	副					負
将	将	将					上
木	平	橋	○三	田	新	国	○国
村	林	本	尾	村	井	上	上

本塾より堀 信孝、朝倉秀樹、小杉寛治、大竹 高、田中明男、関 郁夫の六選手が出場したが三回戦で全員敗退した。

日吉高校対芝高校對抗試合

四月二十五日 於 綱町道場  
 日吉高校 5 — 12 芝高校  
 先鋒 菅原茂友 優勢 伊倉 対 間  
 ○長島成樹 弘巻込 伊倉





一回戦

埼玉県西部地区春季高校柔道大会 (志木高校)

五月十四日(土) 於 川越商業高校

副将	先鋒	河村	河村	河村	鈴木	岡戸	菊一	藤原	山田	熊谷	鈴木	古屋	古本	塚本	小林	大將
樋口	佐山	村充	村剛	村剛	木雅	知裕	一進	芳隆	文治	喜隆	木隆	敏郎	敏郎	敏郎	林道	副将
利三	光久	晴充	引分	引分	晴充	引分	大内刈	内股	背負返	大外刈	優勢	引分	引分	引分	逆十字	大將
引分	合技	引分	引分	引分	引分	大外刈	大内刈	内股	背負返	大外刈	優勢	引分	引分	引分	逆十字	副将
鷹野	小川	市川	市川	市川	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将
永田	千代田	高橋	高橋	高橋	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将
宇野	小沢	高橋	高橋	高橋	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将
内野	千代田	高橋	高橋	高橋	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将
崩袈裟	千代田	高橋	高橋	高橋	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将
袖釣込	千代田	高橋	高橋	高橋	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将
引分	合技	引分	引分	引分	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将
引分	合技	引分	引分	引分	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将
引分	合技	引分	引分	引分	吉成	田辺	齋藤	石崎	山本	山岡	宮崎	多田	玉井	遠藤	遠藤	副将

二回戦 大將 新行内 引分 松本

志木高校 5 | 1 狭山力丘高校

先鋒 佐山 光 袖釣込 合技 松本

鷲山 久 合技 作田

杉下 功 祐 痛分 武藤

羽鳥 順 大外刈 西久保

村上 有 三 大外刈 清水

樋口 寿 利 合技 吉野

山岸 春 彦 優勢 田中

三回戦 志木高校 4 | 2 豊岡高校

先鋒 佐山 光 合技 田代

鷲山 久 優勢 田代

杉下 功 祐 横四方 吉田

羽鳥 順 背負投 山口

村上 有 三 引分 齋藤

樋口 寿 利 優勢 加藤

山岸 春 彦 袈裟固 木村

四回戦 志木高校 1 | 4 川越高校

先鋒 佐山 光 合技 豊田

合技 豊田

## 第十五回東京学生柔道優勝大会

五月二十二日 於 日本武道館

第一回戦シード  
第二回戦

先鋒	飯田祥次	大外刈	○松本	駒沢大学
○大竹	高	背負投	関	
朝倉秀樹	引分	菅原		
西村和悦	引分	西山		
手島秀士郎	優勢	○尾関		
副将 河上龍雄	優勢	○福村		
大将 堀信孝	大内刈	川崎		

最近選手強化をはかっている駒沢大学とはいえ二回戦で敗退したのは全く残念であった。試合は紙一重のところであり、今後の精進を期待したい一戦である。

鷺山久	崩上四方	○大野
杉下功祐	崩上四方	○神山
羽鳥順	袈裟固	○松本
村上有利	引分	東金
樋口寿利	引分	龍島
副将 山岸春彦	背負投	○並木

## 第十四回関東高等学校柔道大会神奈川県予選

五月二十九日 於 県立武道館

神奈川県予選会には、A、B二チームが出場し、Aチームは準々決勝で準優勝した日大藤沢と対戦、敗退した。しかし、敗者復活戦で県川崎を破り、関東大会への出場権を得た。

## 一回戦

先鋒	○鈴木重安	横四方	戸井田	平工
○古屋敏郎	大内刈	佐々木		
○塚本広道	優勢	上倉		
副将	○鈴木重利	合技	石川	
大将	○小林寛	合技	伊藤	
日吉高校B	2	1	藤沢商業	
先鋒	○菊一進	大外刈	宇田川	
藤原芳隆	大内返	○市出		
○小林俊介	絞技	木下		
副将 山田文治	引分	松本		
大将 河村	引分	平野		
二回戦	日吉高校A	5	0	相洋
先鋒	○鈴木重安	優勢	金子	

○古屋 敏郎 大内刈 小林  
 ○塚本 広道 合技 小沢  
 副将 ○鈴木 重利 大内刈 岸野  
 大将 ○小林 寛 崩上四方 市川

## 日吉高校B

1 — 4

鎌倉学園

先鋒 菊一 進 合技

○渡辺

藤原 芳隆 弘腰

○小島

小林 俊介 弘腰

○一戸

副将 ⊖山田 文治 優勢

○的場

大将 河村 内股

○佐藤

## 三回戦

## 日吉高校A

4 — 1

平沼

先鋒 ○鈴木 重安 合技

田中

○古屋 敏郎 内股

杉山

○塚本 広道 袈裟固

児玉

副将 鈴木 重利 背負落

○永岡

大将 ○小林 寛 崩上四方

新井

## 四回戦

## 日吉高校A

1 — 3

日大藤沢

先鋒 鈴木 重安 弘腰

○山下

古屋 敏郎 引分

石井

塚本 広道 袈裟固

○波多野

副将 鈴木 重利 体落返 ○齋藤  
 大将 ○小林 寛 上四方 鈴木  
 敗者復活戦

## 日吉高校A

4 — 0

県川崎

先鋒 ○鈴木 重安 合技

山内

○古屋 敏郎 優勢

松下

○塚本 広道 袈裟固

北詰

副将 鈴木 重利 引分

齋藤

大将 ○小林 寛 不戦

望月

## 第十三回関東高等学校柔道大会

六月十二日 於 見附台体育館

ブロックでは大宮工業と前橋商業と対戦し選手必勝の  
 意気に燃え、決勝トーナメント戦進出を目指して奮戦し  
 た。大宮工には大将戦で一本勝ちし内容差で勝ったが、  
 前橋商に惜しくも敗れた。副将鈴木が肩を痛め棄権した  
 のは残念であった。  
 ブロック戦

## 日吉高校

1 — 1

大宮工業高校

先鋒 鈴木 重安 引分

小暮

古屋 敏郎 優勢

○鳥海

塚本 広道 引分

齋藤

本塾对明治学院大学对抗試合

六月十七日 於 綱町道場

第一試合

副将	鈴木重利	引分	館野
大将	小林寛	上四方	浅野
先鋒	鈴木重安	1	前橋商業高校
	古屋敏郎	引分	土屋
副将	塚本広道	引分	那須
	鈴木重利	兼重	〇山本
大将	小林寛	崩上四方	〇山本
先鋒	岡田昂	引分	吉田
	〇宮本圭一	大外刈	梶山
	稲波唯弘	優勢	〇佐々木
	稲石謙一	引分	津金
	〇吉無田健	内股透	栗本
	青木鶴佳	引分	及川
	〇田中明男	優勢	木村
	〇沢地憲一	合技	近藤
	飯田祥次	引分	坂井田

第二試合

副将	〇河上龍雄	内股	大井
大将	〇芳賀孝穂	大外刈	松井
副将	〇河西悦	内股	高橋
大将	〇西村和悦	合技	戸塚
副将	〇堀信孝	合技	高橋
先鋒	〇内海勝彦	合技	〇及川
	〇渡辺弘二	優勢	吉田(安)
	〇松森弘素	引分	津金
	〇稲波唯弘	優勢	高橋
	近藤正士	返技	梶山
	〇宮本圭一	大外刈	〇及川
	〇福井勝也	送足弘	吉田(安)
	〇平川道隆	優勢	栗本
	〇渡辺尚文	横四方	近藤
	〇望月克己	優勢	木村
	〇田中明男	内股	戸塚
副将	飯田祥次	引分	大井
大将	朝倉秀樹	引分	坂井田

埼玉県朝霞地区武道大会

六月十九日 於 足立高校

志木高校 0 — 4 足立高校



副将 菊一 進 優勢 ○山崎  
 大将 小林 寛 大外刈 ○芳賀

本塾対神奈川県警对抗試合

六月三十日  
 本塾 3 — 7 神奈川県警

先鋒 平川 道隆 体落 ○竹下  
 ○稲波 唯弘 合技 中尾  
 吉無田 健 大内返 ○樋口  
 ○手島 秀士郎 優勢 金子  
 稲石 謙一 背負投 ○小野  
 飯田 祥次 優勢 ○西田  
 田中 明男 内股 ○永島  
 関 郁夫 引分 小谷田  
 大竹 高 大外刈 ○村松  
 芳賀 孝穂 内股 ○加藤  
 副将 ○朝倉 秀樹 大外刈 大沢  
 大将 堀 信孝 引分 須坂

第十六回神奈川県高等学校柔道大会

(全国大会予選個人戦)

七月三日 於 県立武道館  
 団体戦の活躍もあり、最後の個人戦に期待がかけられ

たが三選手とも序盤戦で敗退した。(上段日吉高)  
 重量級

一回戦 ○古屋 敏郎 優勢 高田(平工)

二回戦 古屋 抽選負 ○中田(法二)

中量級 一回戦 塚本 広道 優勢 服部(鶴工)

二回戦 塚本 合技 ○山下(日藤)

軽量級 一回戦 飯島 真理 優勢 ○笹尾(泰野)

本塾対明治学院大学对抗試合

七月五日 於 済寧館

本塾 5 — 0 明治学院大学

先鋒 ○大竹 高 大外刈 近藤  
 ○田中 明男 釣込腰 梶山  
 ○芳賀 孝穂 大外刈 吉田  
 飯田 祥次 引分 坂井田

○渡 辺 弘 二 小外刈  
副将 ○金 杉 浩 優勢  
大将 宮 本 圭 一 引分  
木 村  
栗 本  
大 井

### 本塾对皇宮警察对抗試合

七月五日 於 濟寧館

本 塾 2 — 2

皇宮警察

先鋒 芳 賀 孝 穂 上四方  
○手 島 秀 士 郎 大外刈  
稲 波 唯 弘 合 技  
○大 竹 高 優 勢  
飯 田 祥 次 引 分  
副将 朝 倉 秀 樹 引 分  
大将 堀 信 孝 引 分  
東  
○高 田  
千 葉  
柴 田  
森 本  
藤 田  
中 村

### 本塾对神奈川県警对抗試合

於 神奈川武道館

本 塾 1 — 4

神奈川県警

先鋒 関 郁 夫 引 分  
手 島 秀 士 郎 弘 腰  
宮 本 圭 一 痛 分  
飯 田 祥 次 引 分  
渡 辺 尚 文 背 負 投  
武 下  
○山 口  
中 尾  
小 谷 田  
○小 野

○金 杉 浩 引 分  
副将 田 中 明 男 弘 腰  
大将 朝 倉 秀 樹 引 分  
引 分  
引 分  
内 股  
○大 永 村 西 金  
○加 沢 島 松 田 子  
藤 沢 島 松 田 子

### 夏季遠征合宿 (日吉・志木高校)

七月下旬から八月上旬にかけて千葉強化合宿を行なった。稽古は安房水産高校と合同で先方の道場で行ない、いろいろな形で練習試合を実施した。

### 対・安房水産高校

七月二十九日

日吉・志木高校

10 — 6

安房水産高校

先鋒 ○赤 木 孝 夫 大内刈  
○小 林 正 典 合 技  
○水 谷 直 矢 体 落  
○湯 浅 純 崩上四方  
○佐久間 陽 三 袈裟固  
○長 島 成 樹 跳 腰  
中 村 典 雄 引 分  
齋 藤 守 正 引 分  
加 藤  
鹿 島  
齋 藤  
黒 川  
岡 田  
川 名  
坂 本  
石 井



八月五日

輕量級

日吉・志木高校

1 — 6

安房水産高校

中量級

重量級

小林俊介	古屋敏郎	鈴木重利	熊谷喜隆	○菊一進	藤原芳隆	鈴木重安	飯島真理	平野有三	村上有三	赤木孝夫	佐久間陽三	菊一進	○鈴木重利	古屋敏郎	小林寛	副将	大將	塚本広道
崩上四方	小外刈	引分	引分	合技	引分	優勢	引分	内股	引分	引分	引分	支釣込足	大内刈	優勢	優勢	優勢	優勢	優勢
○高橋	○安田		黒川	加藤	渡辺	早川	○石井	○石井(一)	石井(久)	坂本	高木	○小林	加藤	○黒川	○吉田	○早川		

本塾对全米選拔軍對抗試合

八月二十一日 於 網町道場

第一試合

本塾 9 — 2

全米選拔軍

大將 ○堀	副将 ○西村	大竹	○手島	○関中	田中	宮本	○稲石	渡辺	○渡辺	○内海	○松森	田中	先鋒 ○河村	羽鳥	山田	小林
信孝	和悦	高	秀士郎	郁夫	明男	圭一	謙一	和男	弘二	勝彦	弘素	孝弘	東	順	文治	寛
優勢	合技	引分	大内刈	合技	引分	絞技	釣込腰	肩車	合技	体落	背負投	引分	内股	引分	体落	内股
マルヤマ	キムラ	カディナ	ベニングトン	フィリップス	ピッカード	ミラー	○ナカオ	ブラウン	パー	キムラ	オカモト	マエダ	タキグチ	○吉田	○早川	小林

第二試合

本 塾 10 — 3

全米選抜軍

先鋒	○松葉直彦	体落	タキグチ
○稲波唯弘	内股	マエダ	
○午場春夫	優勢	オカモト	
○松野慶一	合技	○キムラ	
○望月克己	固技	パー	
○青木鶴佳	返技	ナカオ	
○福井勝也	横四方	ブラウン	
○金杉浩	横四方	○ミラー	
○吉無田健	引分	ピッカード	
○沢地憲一	返技	フィリップス	
○渡辺尚文	大外刈	ベニングトン	
○岡田昂	優勢	○カディナ	
副将	○飯田祥次	大内刈	キムラ
○朝倉秀樹	優勢	マルヤマ	

東海地方遠征

この夏は名古屋を中心に東海遠征を行なった。愛知では、警察、産業人ともに強敵ぞろいであるが、果敢に戦いにいどんだが成績は二勝三敗と終った。

対・全岐阜チーム

八月二十五日 於 岐阜市民体育館

本 塾 15 — 10 全岐阜チーム

先鋒	○松葉直彦	優勢	○渡辺
○内海勝彦	引分	中田	
○松森弘素	合技	川嶋	
○稲田新	合技	遠藤	
○岡田昂	合技	加藤	
○北田俊一	崩上四方	山内	
○羽鳥正稔	崩裂	小森(山)	
○平川道隆	優勢	宮部	
○奥住神州男	横四方	近藤	
○松野慶一	内股	小森(武)	
○渡辺弘二	引分	大熊	
○福井勝也	優勢	○武藤	
○近藤正士	引分	春日井	
○稲波唯弘	横四方	高橋	
○田中孝弘	内股	○大橋	
○吉無田健	体落	山下	
○小杉寛治	大外刈	○狩野	
○望月克己	引分	横山	
○河上龍雄	払腰	坂田	

## 対・愛知県警

八月二十六日 於 愛知スポーツ会館

本 塾 5 | 10 愛知県警

先鋒

望月	優勢	○鍵谷
岡田	背負投	○小田
宮本	引分	秋田
河上	優勢	岡田(健)
金杉	縦四方	○安田

大将 ○堀	副将 西村和悦	手島秀士郎	大竹高	宮本圭一	芳賀孝穂	○関郁夫	○稲石謙一	飯田祥次	金杉浩	朝倉秀樹	渡辺尚文	○田中明男	沢地憲一
信孝	悦	悦	高	一	穂	夫	一	次	浩	樹	文	男	一
合技	合技	合技	合技	合技	合技	合技	合技	合技	合技	合技	合技	合技	合技
高橋	○山本	○松岡(弟)	○雜賀	○渥美	○松岡	三浦	掛札	小田島	○加藤	長谷部	龜井	波辺	竹田

## 対・全愛知産業チーム

八月二十五日 於 愛知スポーツ会館

本 塾 3 | 23 愛知産業チーム

先鋒

内海	引分	早杉(東レ愛知)
稲田	引分	西岡
松葉	引分	霜島(三菱重工)
北	引分	○小倉(〃)
	大外落	

大将 堀	副将 西村	○手島	朝倉	田中(明)	飯田	沢地	大竹	○芳賀	○稲石	近藤	○福井	○関	波辺(弘)	稲波
堀	村	島	倉	明	田	地	竹	賀	石	藤	井		弘	波
引分	優勢	大外刈	崩上四方	内股透	大外刈	大外刈	引分	優勢	優勢	引分	優勢	引分	引分	引分
仙石	○高橋	○岡田(敵)	○大岩	○金光	○西岡	○小木曾	○西村	○渡辺	○山元	原田	福沢	中垣	小林	岡田(隆)

田中(明)	芳賀	飯田	朝倉	○沢地	稲波	宮本	河上	渡辺(尚)	金杉	吉無田	望月	近藤	福井	渡辺(弘)	奥住	松野	平川	松森	小杉	○田中(孝)	羽鳥	○岡田
横四方	大外刈	引分	横四方	小外刈	優勢	合技	引分	弘卷込	小内卷	優勢	背負投	優勢	内股	引分	優勢	横四方	合技	内股	崩上四方	内股透	袈裟固	優勢
○佐藤(3) (〃)	○大塚(3) (三菱)	庄司(2) (〃)	○増田(2) (〃)	中尾(2) (〃)	○秋窪(2) (東レ)	○池田(2) (三菱)	川口(2) (東レ愛知)	○佐久間(2) (三菱)	○寺沢(2) (東レ)	○白石(2) (三菱)	○川口(2) (東レ)	○池田(2) (〃)	○小倉(2) (三菱)	○国井(2) (〃)	○小倉(2) (東レ愛知)	○中島(2) (〃)	○松尾(2) (三菱)	○沖本(2) (〃)	○国井(2) (〃)	加賀(2) (東レ愛知)	○吉留(2) (〃)	○多和田(2) (東レ)

副将 ○西村	○手島	朝倉	田中(明)	○大竹	芳賀	沢地	稲波	飯田	○渡辺(尚)	○関	○渡辺(弘)	○河上	○宮本	先鋒 ○宮本	对・愛知学院 本塾		大将 堀	副将 西村	手島	大竹	稲石	関
合技	優勢	引分	引分	合技	小外刈	引分	優勢	大外刈	合技	体落	優勢	内股	跳腰	9			3	引分	優勢	弘腰	一本背負	大外刈
近藤	石黒	伊藤	梅田	横山	○平野	池田	福井	○荒井	大矢	鈴木	関山	早川	高田	愛知学院	木村(4) (三菱)	○近藤(3) (東レ)	○大塚(3) (三菱)	○長村(3) (東レ)	○野口(3) (〃)	○吉留(3) (〃)		

○朝倉	○河上	○近藤	渡辺(弘)	○福井	○小杉	○奥住	○平川	○金杉	松森	内海	岡田	望月	羽鳥	○吉無田	○飯田	松葉	先鋒	本塾	对・中京大学	大将 堀
優勢	内股	上四方	引分	体落	優勢	引分	袈裟固	崩上四方	引分	引分	背負投	引分	大外刈	優勢	体落	引分	優勢	8	内股	
松下	児玉	横馬場	浜口	山崎	加藤	京極	天野	○助野	長谷川(稔)	藤橋	○水本	○島崎	○池田	○入江	森下	○篠田	中京大	12	○林	

大将 堀	副将 西村	手島	田中(明)	稻石	芳賀	大竹	○関	稻波	宮本	渡辺(尚)	沢地
引分	合技	優勢	優勢	引分	引分	崩上四方	優勢	大外刈	引分	引分	優勢
○伊神	○森島	○河原	○小田	○吉野	○斎藤	○竹内	○野川	○紙谷	○青野		

埼玉県民大会

リーグ戦

八月二十八日 於 浦和高校

志木高校	1	秩父農業高校
志木高校	3	小川高校

第九回東京選抜学生柔道優勝大会

九月三日 於 講道館

一回戦シード

○三年ノ部  
一回戦

日吉高校

5 | 0

橘高校

第十五回神奈川県高等学校学年別柔道大会

九月十八日 於 立野高校

二回戦	三回戦	準決勝	先鋒	代表戦
立正大学	東京経済大学	東京大学	大竹 高	堀 信孝
4   0	6   1	1   1	大外刈	大竹 高
堀 信孝	堀 信孝	堀 信孝	堀 信孝	堀 信孝
引分	引分	引分	引分	引分
大内返	引分	引分	引分	引分
○瀬戸口	引分	引分	引分	引分
藤 綱	引分	引分	引分	引分
示 野	引分	引分	引分	引分
原 田	引分	引分	引分	引分
○山 中	引分	引分	引分	引分

二回戦	先鋒	副将	大将	準決勝
上田 田	木 重安	林 俊介	林 寛	日吉高校
井 上	合 技	大内刈	横四方	1   4
林 橋	横四方	合 技	横四方	日吉高校
高 橋	合 技	合 技	横四方	優 勢
永 島	横四方	合 技	横四方	日大藤沢
鶴見工業高校	引分	合 技	合 技	○五十嵐
宮 下	引分	合 技	合 技	
児 玉	合 技	合 技	合 技	
小 川	合 技	合 技	合 技	
大 関	巴 投	巴 投	巴 投	
中 村	崩上四方	崩上四方	崩上四方	

三回戦	先鋒	副将	大将	準決勝
豆子開成	木 重安	林 俊介	林 寛	日吉高校
3   2	合 技	大内刈	横四方	1   4
不戦勝	横四方	合 技	横四方	日吉高校
大外刈	合 技	合 技	横四方	優 勢
山口	合 技	合 技	横四方	日大藤沢
○渡 辺	合 技	合 技	横四方	○五十嵐
田 中	合 技	合 技	横四方	
榎 本	合 技	合 技	横四方	
○川 口	合 技	合 技	横四方	

先鋒	副将	大将	準決勝
鈴木 木	鈴木 木	熊 谷	日吉高校
1   4	合 技	崩上四方	1   4
優 勢	合 技	崩上四方	日吉高校
日大藤沢	合 技	崩上四方	優 勢
○五十嵐	合 技	崩上四方	日吉高校

先鋒 ○水谷	日吉高校	3	1	酒井	横浜商業
三回戦					
大将 ○藤原	副将 ○西島	崩上四方	横四方	森住	
○菊一	上四方	山口	平野		
○河村	優勢	中出	松本		
先鋒 水谷	引分	藤沢商業	4	0	
二回戦	日吉高校				
大将 ○藤原	副将 ○西島	大外刈	橋爪	高橋	
○菊一	進	巴投	竹津		
○河村	充	合技	望月		
先鋒 水谷	直矢	足弘	○梶川	三浦高校	
一回戦	日吉高校	4	1		
○二年ノ部					
大将 ○熊谷	副将 鈴木	合技	袈裟固	大場	
小林	山田文治	内股	大外刈	○山下	
○波多野			○斎藤		

先鋒 ○長島	日吉高校	4	1	井上	秦野高校
二回戦					
大将 ○小林	副将 赤木	崩上四方	引分	山下	
○小林	正典	引分	山下		
○湯浅	純	優勢	井本		
飯島真理	引分	石井			
先鋒 長島	成樹	支釣込足	○織戸	追浜高校	
一回戦	日吉高校	2	1		
○一年ノ部					
大将 藤原	副将 西島	優勢	○矢島		
○菊一	引分	前田			
袈裟固	引分	小沢			
内股	引分	○神守			
先鋒 水谷	河村	引分	杉田	鶴見高校	
一回戦	日吉高校	1	2		
四回戦					
大将 ○藤原	副将 西島	横四方	野島		
○河村	菊一	小内刈	金子		
痛分	小林				
体落	○渡辺				

○飯島	巴投	北村
○湯浅	合技	石川
副将 ○赤木	縦四方	高橋
大将 小林	返技	○上原

日吉高校 0 — 1 日大一高

先鋒 長島 引分 俵  
 飯島 引分 菅野  
 湯浅 引分 藤山  
 副将 赤木 引分 石川  
 大将 小林 崩上四方 ○河野

期待された一年生は調子の出ないうちに三回戦で敗退したのは残念であった。二年生は準々決勝で敗れ、三年生が準決勝まで勝ち進んだものの、宿敵日大藤沢には完敗だった。

第十八回早慶對抗柔道戦

十月二十二日 於 講道館

このところ六連敗と負けが続いているが、この結果が示すとおり、本塾の低迷ぶりに比べ、宿敵早稲田は選手層も厚く、レギュラー陣の充実がうかがえる。それでも早慶戦だけは負けじとばかり勝つ意欲に燃え奮戦した。

しかし試合展開は悪く一人の相手に何人も続けて負け逆  
 に本塾の選手は二本と続かなかった。その結果が十人残  
 しとなり、またも涙をのんだ。

審判員

八段 大滝 忠夫 八段 菊池 揚二  
 八段 杵淵 政光 八段 細川九州男

本塾 早稲田

先鋒 松葉直彦(2)	引分	先鋒 許
河村 東(2)	引分	池畑 正明(2)
○奥住 神州男(2)	上四方	井上 憲治(2)
奥住 昶(2)	釣込腰	○熊井 井
岡田 昶(2)	内股	○熊井 健(2)
吉無田 健(3)	引分	熊井 健(2)
○芳賀 孝穂(3)	払巻込	村上 良雄(2)
芳賀 正士(3)	小外刈	○高橋 良
近藤 正也(3)	内股	○高橋 橋
福井 隆也(3)	内股	○高橋 橋
平川 道隆(3)	内股	○高橋 橋
○手島 秀士郎(3)	大外刈	高橋 博大(2)
手島 佳(3)	合技	○中本 博
青木 鶴佳(3)	優勢	○中本 博
宮本 圭一(3)	引分	中本 博

不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	引分	背負投	大内刈	引分	優勢	横四方	一本背負中堅	引分	合技	優勢	弘腰	後腰	弘腰	大外落	引分	弘卷込	合技	内股
古屋道治(3)	近谷忠行(3)	礪沢隆治(3)	市川平作(3)	川崎耀二(3)	大西政一(3)	大西樹(3)	関山口茂樹(3)	西山	西山	西山	水谷俊二(3)	小野沢弘史(3)	中川	中川	中川	中川	中川	針谷良夫(3)	高橋英健(3)	友成	友成	友成章人(3)
朝倉秀樹(4)	西村和悦(3)	飯田祥次(3)	稻波唯弘(3)	望月克己(3)	関郁夫(3)	河上龍雄(3)	稻石謙一(3)	中村寛治(3)	堀信孝(3)	田中明男(3)	金杉浩(3)	大竹高(3)	中堅									

引分	引分	引分	大内返	横四方	引分	体落	一本背負	合技	袈裟固	横四方	引分	先鋒	先鋒	赤木孝夫	湯浅純	西島良信	西島	西島	藤原芳隆	熊谷喜隆	熊谷	塚本広道	菊一進	鈴木	
村上有利	樋口寿利	佐山光	佐山光	杉下功祐	鷺山久	鷺山春彦	山岸春彦	大城朝幸	大城朝幸	前島	田中	志木高校	志木高校												
不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	不戰	
清水猛(4)	山田泰嗣(4)	藤内邦磨(4)	山下雅之(4)	山田泰嗣(4)																					

日吉高校対志木高校定期対抗試合

十月十六日 於 日吉道場

優秀選手

本塾 関郁夫、田中明男

早稲田 中川良夫、高橋良雄、熊井憲治

神奈川県平塚大会  
十一月十三日 於 平塚

一回戦

先鋒	西島良信	4	1	富士フィルム
菊一	進(初)	巴投		内海(初)
〇塚本広道	釣込腰			杉崎(初)
副将〇鈴木重安(2)	背負投			境(初)
大将〇小林寛(2)	崩上四方			国原(初)
				市川(2)

二回戦

先鋒	西島	2	1	朝飛道場
菊一	優勢	湯浅(初)		
〇塚本	釣込腰			〇沢地(初)
副将鈴木	引分			波辺(初)
大将小林	引分			山中(初)
				福岡(2)

先鋒	西島	3	1	川崎斉藤道場
菊一	引分	山田(初)		
		弘腰		〇原田(初)

四回戦

〇塚本	釣込腰	木原(初)
副将〇鈴木	優勢	杉浦(初)
大将〇小林	横四方	佐藤(2)

先鋒	西島	0	2	厚木道場協会
菊一	支釣込足	〇明瀬(初)		
塚本	引分	角田(初)		
副将鈴木	引分	関谷(初)		
大将小林	崩上四方	〇飛鳥(3)		

普通部の現況

本年は一年から三年まで平均して部員の数がそろう、総数二十六人で普段、稽古をしたり、全塾の紅白試合に参加した。春、秋の三中学戦(成城中学、成蹊中学)に優勝したが、中等部戦には敗れた。

④本年も春季、秋季紅白試合、塾内月次試合が行なわれたが、記録に残っていない。